

■川と歴史資源を結びつけるストーリー（例）

- 川に直接関係する史跡：渡し跡、水制工、霞堤、川湊跡
- 洪水に対する暮らしの知恵：桜佐のヨゲ（氾濫を前提とした集落を守る堤防）、水屋
- カミナリ＝雨＝洪水：川沿いに八龍社（カミナリ除け）がいくつかある
- 川＝災害：秋葉神社（火事除け）をリストアップする
- 水の神：水神（桜佐）、弁天社をリストアップする
- 川祭：岩塚七所社さねこさ祭、下之一色浅間社・川祭
- 星＝天の川＝庄内川：星神社
- 地域の歴史と深いつながり：前田家など
- 式内社：「延喜式神明帳」（901～922年に調査）にのっている古い神社
- 流域に特に数多く分布する神社
- 古墳の場所と川の関係（古墳ルートから川がどのように見えるか）

●桜佐のヨゲ堤（春日井市）

ヨゲ堤は桜佐の集落の周りに築かれた堤防で、庄内川があふれても被害を少なくする工夫。普段は堤防の切れたところから通行できるようになっているが、洪水の時には石の柱の溝に板をはめヨゲ堤の開いたところを閉める。八龍社には2本一組の石柱の内の1本が残っている。石柱には溝が彫ってあり、この溝に板をはめて通路を閉じ洪水の侵入を防いだ。



桜佐のヨゲ堤



ヨゲ堤の水神様



八龍社に残るヨゲ堤の柱

■神社



桜佐の東八龍社（カミナリ除け）



中味碗の西八龍社



上小田井の星神社（岩倉街道）



美濃路街道の屋根神様



萱津神社（漬け物の神様）



下之一色の浅間神社

■街並み・昔を伝える風情



岩倉街道（上小田井）



美濃路街道（西枇杷島町）



下之一色魚市場



瀬古の蔵式水屋（東春酒造）



土岐川沿いの酒屋（瑞浪）



土岐川沿いの建物（瑞浪）

2-2 多様な生態系を育む環境、ゴミのないきれいな川にするために

[生態系・水質・ゴミグループからの提案]

■主なテーマと解決課題

- 源流から河口まで、流域全体のつながりと広がり大切に。
- 現状の貴重な自然を生態系の核として保全する。
- 周辺の自然環境とのつながりや人と自然の係りを大切に。
- 現状の自然資源を生かしながら、積極的に自然環境を回復してゆく。
- 解決課題
 - ・魚道の問題：【小田井床止・神明上条用水堰の魚道・玉野堰の魚道】
 - ・ゴミの問題：【藤前干潟・稲永公園・ヨシ原】
 - ・水質の問題：【八田川合流点・愛岐処分場周辺・小里川合流点・源流】

提案1 生態系の拠点を核に「緑・水路・池・湿地・水田」のネットワークを形成する

【趣旨】

河川生態系の豊かさは、水源から河口までの「縦のつながり」（連続した河畔林、生物移動、土砂移動など）とともに、本川に合流する支川や小さな水路と湿地・池・水たまり・水田を含めた「横への広がり」が重要であり「アユが棲む川・アユがのぼる川」と「内と外に命につながる川」を目標にしたい。そのような連続性を回復していくために、まとまりのある自然的資源を土岐川庄内川の生態系の拠点エリアとして位置づけ、拠点を核にした生態系のつながりを生み出す方策を検討する。

【生態系の核と考えられる候補地】

藤前干潟・河口部のヨシ原／庄内緑地／新川洗堰／ふれあい橋周辺／勝川橋～鹿乗橋間の中流部：竜泉寺屋下・才井戸流れ・大留橋左岸ビオトープ／鹿乗橋～県立多治見病院の溪谷（玉野溪谷、